



## 令和元年度 いなっ子セミナー

令和元年7月25日 公開実技研修会

### <講座Ⅰ バasketボール>

本研修は、Basketボールの競技ルールや指導方法、具体的な練習方法等を学ぶことを目的として実施しました。

はじめに、「ルール」について、「バイオレーション（ルールの違反）」と「ファウル（規則の違反）」の違いと、それぞれ複数ある種類と具体的な内容、「審判法」として「審判の合図」について説明がありました。次に、練習方法について、ボールをつかった準備運動やパスやドリブルの基本的な身体の動かし方、シュートの方法など、例を見て実践しました。投げ方やステップの踏み方、体の動かし方や留意点を丁寧に教えていただき、左右それぞれの位置からやってみると、「利き腕でない方は難しい。」と、見ているだけでは分からなかったことを実感できる機会になった方も多かったです。

最後に、参加者がチームに分かれ実際の競技としてBasketボールを行いました。参加した先生方はいきいきとゲームを楽しんでおり、「これからの授業作りに生かしていきたい。」という感想が多くあり、これまで指導に関わることがなかった先生方からは「普段なかなか経験できない活動ができた。」と感想をいただきました。体を動かしリフレッシュできる講座となりました。



### <講座Ⅱ 音楽の授業づくり>

本研修は、音楽に関する様々な指導方法について知ることや演習を通して具体的な指導・支援の仕方を学び、実際の授業に生かすことができることを目的として実施しました。

前半は、歌唱指導について発声練習やパート練習を行い、全員で合唱を行いました。楽曲を編集することで、児童生徒が歌いやすいように工夫されていました。後半の器楽指導では、児童生徒が扱いやすい楽器についての紹介や簡単なリズムを組み合わせることで合奏ができるようになる工夫について話がありました。実際には、鍵盤がはめ込み式になっている木琴や鉄琴などを使用して、グループに分けて演奏の体験をしました。

児童生徒の実態に応じて、音楽表現をするために必要な技能を身に付けられるように、取り扱う楽曲や楽器の使い方など様々な指導・支援の工夫が必要です。児童生徒が生活の中で音楽に親しみ楽しく関わることができるように、教師も楽しみながら授業を行うことが大切だと感じました。



# 令和元年7月26日 公開講演会

演題「新学習指導要領を踏まえた知的障がい教育における各教科等の授業づくり

～自ら学び、集団の中で学び合う姿を目指して～

講師 東京家政大学 教授 半澤 嘉博氏

各教科等の授業の中で「主体的・対話的で深い学び」をどう実現するか、児童生徒の資質・能力の育成に向けた学習をどう組み立てていくべきか、それらの大切さと方法について新しい学習指導要領の各ポイントと対比させた詳しい講義をいただきました。また、職業自立、生活自立に向けて教員一人一人が子どもたちに対して真摯に取り組む必要のある「幅広い経験を積み上げること」「一人でできることを増やすこと」「興味や得意なことを早い段階に見つけること」などの課題を、半澤先生がこれまで取り組んでこられた数々の実践例をもとに分かりやすくお話をいただきました。



# 令和元年7月25日～26日 教材教具展

本校教員が実際の授業の場で使用している教材教具の展示を行いました。

児童生徒の実態に応じて教員が作ったものをはじめ、タブレット端末のアプリケーションといった ICT を活用したものなど多種多様な教材教具の他、市販の教材の活用例なども見ることができました。

「同じ目的で似ている物を作ったことがあるが、新しいアイデアをもらった。」「手作り教材の工夫方法が参考になった。」「材料の入手先が知りたい。」等の感想があり、領域・教科ごとに分けられた実際に手で触れて試すことができる展示にご好評をいただきました。

